

花巻市男女共同参画審議会（第1回）会議録

- 日時 平成27年6月8日（月）午前10時00分～午後0時00分
- 場所 花巻市役所本庁舎3階 302～304会議室
- 出席者 委員 13名 高橋秀憲会長、岩渕満智子副会長、小田昭信委員、豊岡茂委員、高橋正行委員、高橋聖明委員、伊藤達也委員、平賀貞子委員、佐々木美香委員、藤戸妙子委員、角屋雄一委員、小原幸子委員、穂高マツヨ委員
(欠席者2名 菊池敦子委員、晴山玲美委員)
- 市側 7名 亀澤健副市長、八重樫和彦総合政策部長、久保田留美子地域づくり課長、佐藤拓史同課長補佐、佐々木彰子同課市民協働係長、伊藤愛美同課上席主任、藤原隆志同課主任
- 傍聴等 傍聴者0名

- 次第 委嘱状交付
- 1 開 会
 - 2 挨拶
 - 3 会長、副会長の選出
 - 4 審 議
 - (1) 花巻市の男女共同参画に関する施策について
 - (2) 平成26年度花巻市男女共同参画推進事業の年次報告の公表について
 - (3) 「花巻市男女共同参画基本計画」見直し方針について
 - 5 その他
 - 6 閉 会

■ 議事録

開会に先立ち、亀澤副市長より委嘱状を交付

1 開会

佐藤地域づくり課長補佐 花巻市審議会等の会議の公開に関する指針により、会議の傍聴を認め公開することを説明したのち、開会を宣言。

2 挨拶

亀澤副市長 本日、第1回花巻市男女共同参画審議会が開催されますことに対し、ご挨拶を申し上げます。

花巻市男女共同参画審議会の委員の皆様におかれましては、お忙しい中ご出席いただきそして、審議会委員としてお引き受けいただきありがとうございます。日頃より市政の発展のため特にも男女共同参画の社会の実現のためひいてはいろいろな形での取り組み等していただいていることにつきまして改めて、敬意と感謝を申し上げる次第であります。

当市といたしましては、新市合併後、平成19年に現在の花巻市男女共同参画

基本計画を策定しまして、それに基づき事業を進めてきました。

審議会の皆様におかれましては、事業の計画立案に男女共同参画の視点があるのかどうか、あるいは、その事業を実施した結果どうだったのか、その施策についてどうしたら良かったのかといったことのご意見ご提言をいただきまして、進めてきたところであります。いわゆるPDCAサイクルをやっていただいているところであります。

加えまして、さきほど申しました基本計画は、平成27年度今年で計画期間が満了するというところであります。期間が満了することに伴いまして新しい計画を策定する必要があるということで、過日、検討委員会を設置いたしまして本格的に見直し作業を開始しているところであります。そういった計画策定につきましても皆様のご意見ご提言は当然必要となつてまいりますのでその際には、一つよろしくお願ひしたいと存じます。

今、世を挙げて地方創生あるいは人口減少対策ということを言われておりますが、花巻市もご多分に漏れず合併当初から見るとかなりの人口減少で現在10万人を切ってしまった状況であります。そういった意味では、少子高齢化対策、雇用の場の確保、定住促進について真正面から取り組んでいるところであります。そういったことの一つに男女共同参画の社会の実現がやはり必要かと思うところであります。

いわゆるまちづくり総合計画といった大きな範囲の中にも同じように全てにおいて男女共同参画のスピリッツというのは、入ってきているだろうと思つたので、この部分だけの理論ではなくて、広い意味のまちづくりという意味での経緯を踏まえ合せていただければと思つたので一つよろしくお願ひします。

たくさんのことをお願ひしましたが、花巻市は早い段階で、男女共同参画の社会実現を掲げておりますので、一定の蓄積はございますが、ただ世の中の変化もございまして、新しい委員の方もおいでになりますので、いろいろと新しいアイデアのご意見をいただければと思つたので、お願ひばかりのあいさつで恐縮ですが、一つよろしくお願ひします。

(亀澤副市長は所用のため挨拶後退席)

担当職員から自己紹介

八重樫総合政策
部長

3 会長、副会長の選出

選出にあたり、会長が決まるまで八重樫総合政策部長が議長を務めた。

各委員自己紹介

八重樫総合政策
部長

会長及び副会長は委員の互選によるものであることを説明し、選出方法について委員に諮った。委員から事務局案でとの提案があり、他の委員からも異議がなかった。

会長及び副会長について、事務局案として会長に高橋秀憲委員、副会長に岩淵満智子委員を提案し、委員全員に諮ったところ異議なく決定した。

(暫時休憩)

審議会開催

佐藤地域づくり
課長補佐 花巻市男女共同参画推進条例第16条第2項により審議会は、委員の半数以上が出席しなければ会議を開くことができないと定めておりますが、本日は、15名中13名の委員がご出席していただいておりますことから会議を開催させていただきます。

高橋会長、岩渕副会長あいさつ

4 審議

高橋秀憲会長 それでは、さっそく審議に入らせていただきます。審議の方は、淡々と次第にのっとり入らせていただきます。

第1番花巻市の男女共同参画に関する施策についてとなっております。事務局の方より説明をお願いします。

佐々木市民協働
係長 (資料1-1「花巻市の男女共同参画に関する施策について」、資料1-2「花巻市男女共同推進条例」について説明)

高橋秀憲会長 事務局より概要をご説明いただきました。
ご質問等ありましたらいただきたいのですが、ないようであれば、次の議題へ
と行きたいと思っております。

それでは、次の第2番「平成26年度花巻市男女共同参画推進事業の年次報告の公表について」これが具体的にどのように行われているかご説明をお願いしたいと思います。

佐々木市民協働
係長 (資料2「平成26年度花巻市男女共同参画基本計画に基づく事業概要一覧」について説明)

高橋秀憲会長 4点のご報告をいただきました。委員の皆様方におかれましては、あらかじめ資料を配布されており少しは、ご覧になられたと思っておりますが、ただ、非常にたくさん
の事業があり並行して行われておりますので、ここはどうだろうかとか、あるいは、これはどうであるかという点をお伺いしたいと思います。

ご意見等ありましたらお願いいたします。

高橋正行委員 公表の目的、対象者を教えてほしい。

佐々木市民協働
係長 では、目的ですが、こちらは、花巻市男女共同参画推進条例第12条に男女共同参画の推進に関する施策の実施状況を明らかにする年次報告書を作成し、これを公表するものとする。とありますので、こちらの推進条例により公表するもの

です。

対象者の方は、公表方法が、ホームページによるものですので、市民の皆様に見ていただくという形で、公表いたしております。

高橋秀憲会長

ありがとうございます。

連動してこれから新しい計画の方を作っていくわけでしょうが、この段階の実施状況を加味しながらいくこととなりますでしょうが。

ほかにご意見等ございませんか。

私なりに拝見させていただきましたけれども内容に例えば男女比、参加比などですね、後は、参加人数目標とかあればと思いますが。

久保田地域づくり課長

まず、かなりの分量いわゆる男女共同参画の視点で、計画中にも基本目標によるかなり細かい施策をやってきております。計画が8年というもので、その間に事業自体が動いているものがあるということなのですが、それぞれの事業例えば、地域づくり課では、今年の2月に女性の視点から「防災、地域づくりを考える」をなはんプラザで開催しましたが目標数値が100で実際は150人の参加でした。

この年次報告書を見てお分かりの通り、事業名がたくさん並んでいるのですが、大切なのは、会長さんがおっしゃったとおり女性の参加割合、何人を目標準数値とするかで、いわゆる何人にお知らせしたかということが大切なんだと思いますので、記載についてはご相談しながらと思っております。

資料1-1の裏に花巻市男女共同参画推進8カ条というものがあまして、これは、計画の途中で作成されたものなのでありますが、この中に例えば④に「誰もが利用・参加しやすいよう、日時、場所を設定し、利用・参加の促進に努めましょう。」⑤に「妊産婦や子ども連れ、高齢者や障がい者等が利用・参加しやすい環境づくり、会場設定に努めましょう。」など、以前はこの数字を公表していた時代もありました。その結果が目標値に対して、ほぼ100に近い値となっていて、そのためこの8カ条で啓発をしようということになったと私は思っております。その部分も合わせまして、次の計画につきましては、指標というものを大事にしたいと思っておりますが、その指標は、審議会の皆様にお諮りしながら、その部分の公表を実のあるものとしたと考えております。

高橋秀憲会長

いずれこれは新しい計画、これから説明があるアンケート結果の時にまた、ご意見等をいただければと思います。

ありがとうございます。

それでは、第3番の議題「花巻市男女共同参画基本計画」見直し方針について、お願いいたします。

佐々木市民協働係長

(資料3-1「花巻市男女共同参画基本計画の見直し方針について」について説明)

高橋秀憲会長

いまの説明でわからなかったところ等がございましたら。

ないようですので、次の説明をお願いします。

藤原主任 (資料3-2「花巻市男女共同参画基本計画の見直しにかかるアンケート調査報告書及び調査票」について説明)

高橋秀憲会長 それでは、ご意見ご質問を頂戴いたします。
ちなみに資料2の方の19ページのアンケートの結果も参考としながら、いかなものでしょうか。

それでは、私から6ページ、DVの言葉も意味も知っている人の割合の年代別で10年前に多かった世代がそのまま多いように感じました。関連して、7ページ目も年代別になっていけば傾向が見えてくるのではないかと思います。今回は、本当の意味での花巻市の21世紀のスタートの印象を持っているので、各方面の方たちがお集まりですのご意見をお聞きしたいと思います。

岩渕満智子副会長 7ページの「7受けたことも見たこともない」の設問では、受けたことがある数字と見たことがある数字それぞれの割合が見えてこない。次のページの誰かに相談したかという問いがあるので、実際にDVを受けた人の割合が出てこないのが残念であり、アンケートを取るなら分けた方がよかったのではないかと。

久保田地域づくり課長 DVにつきましては、岩渕副会長さんがおっしゃったとおり、実はこの設問自体が、受けたことがある・見たことがあると二股かけているので問題があったため実数としては出てきていないところでした。ただ、これからお話していくところで、潜在的にDVが隠れてしまっているところがある。実はどこに相談しに行ったらよいかわからないということで、既に抱えてしまっている方がこのアンケートに現れていて、私どもの方で次回提示できるとすると岩手県のDVの相談件数ですとか、実は花巻市役所では福祉事務所の婦人相談員の相談件数とかしか実数で出すことができないが、私が見ているとここ10年間相談件数的には横並びであり、県の花巻保健福祉環境センターは配偶者暴力相談支援センターに指定されていますが、そこに相談件数があるかということとそんなにないというのが実態です。警察署とかいろいろな場所へ相談へ行かれています。次にお出しできる数字とすると相談件数は参考としてお示しできると思います。

岩渕美智子副会長 アンケートの数字で出てきていますが、どこに相談できるか、私が警察や市役所の相談室を紹介しても地元では嫌だという方がおられます。県の相談支援センターにお聞きするといろいろな相談事があるが、相談者は、相談室へ行くことに対して勇気がいることで、私も相談者と一緒に3回ほど同行したことがあります。そこでお聞きしたことが、花巻市さんの方も相当きますよということでした。アンケートを見ると相談支援センターが0人であるので、実際どうなんだろうということを感じたところでした。

穂高マツヨ委員 関連して、DVに関して相談しなかったという理由がわかりたかったのですが、岩渕さんから相談場所がわからなかったというのも一つの理由でしょうし、理由が

わかれば手だてを立てることが出来ると思います。きちっと把握すべきところだ
なと思います。男女共同参画の情報誌（ウィー）には、警察署の生活安全課の連
絡先を入れて市民の方にはお知らせしたはずなのですが、警察にはなかなか行き
づらいということがあります。近くに相談に行くとすぐに噂が広まり嫌だという
相談者もいるということはどうするか、相談を受ける側の対処の仕方なども大切
だと感じます。

もう一点、アンケートの調査結果を見ますと平成15年度と平成26年度で区
切ってみても言葉についても知っている意味が分かっているという回答が増えて
いますが、それが即男女共同参画社会の実現に向けてその方たちが、行動してい
るかには結びつかないので、慎重に取り組んでいかなければいけないのではない
かと思います。

個人的に思っていることは、地域づくり課という言葉はあるのですがけれど前ま
であった市民協働・男女参画推進課というものが市庁舎から消えたことはマイナ
ス面で大きいことだと思っております。市の皆様が男女共同参画という言葉や意
味も分かって自分が実際にやらなければ花巻市の男女共同参画が進まないという
意識を持っていただくためにも男女共同参画課・係と目に見えたものが必要では
ないのかという個人的な意見です。

八重樫総合政策
部長

市の総合政策部は人事・組織を担当しておりますことからその中で、一昨年市
の組織見直しの際に総合計画に対応した総合計画を実施する上で、見直しをかけた
経緯がありました。その結果、男女共同参画課という課が消えてしまいました。
これは永久にこのまいくものではなく、あくまで市の組織のことなので、今、
穂高委員からのご提言をお聞きしましたし、以前の別な男女共同参画会議でもお
聞きしておりますので、市民に分かりやすい組織・事業を推進しやすい名称とす
ることは考えていかなければならないと思っております。
ご提言ありがとうございます。

高橋秀憲会長

ありがとうございました。

今3番目のアンケートのご意見をいただきましたが、この際ですので、その他
ご提言等ありましたら忌憚のないご意見をよろしくお願いします。

小原幸子委員

11ページの「6.女性と職業について」を見ますと、女性は結婚しなさい、そ
して職業をもってどんどん昇格して、出産をしなさいということになっているが、
実際は、育児休業とか介護休暇等の関係が非常に厳しい。子供ができると職場を
辞めて子供が大きくなったら再び仕事を持つことが良いという所ですが、そこで、
そのまま仕事に就けるかというとなかなか難しいところがある。アンケートでは、
簡単に「ありますか」、「できますか」という問いではあるが現実には、難しいの
ではないか。

高橋秀憲会長

アンケートに答えるのは簡単なことだが、現実社会は難しいところではありま
す。

職場での理解が必要で、ここは労働のことなので小田委員いかがでしょうか

- 小田昭信委員 職業のところを見ますとデータの的にあると思いますが、男性がどう思っているか、女性がどう思っているかという所まで出していただくとより具体的にわかるのではと思うので、検討をお願いします。
- 今法律で、女性の職業生活における活躍の推進に関する法律案が国会で廃案になりましたが、その中身でもいろいろ女性の関係では、雇用・評価ですとか長時間労働是正の取り組み、セクハラ、マタニティーハラスメントの出産にかかるような問題が取り上げられてきています。アンケート結果からでてくる法律の整備等、今後策定する計画案については、検討材料となってくるのではないかと。
- 高橋秀憲会長 ありがとうございます。
- 男女分けであったりは、今後出てくるとしますので、よろしくをお願いします。それでは、職業ということで雇用主の商工会議所ではどうでしょうか。
- 高橋聖明委員 アンケートとしては、個人を対象としていますが、会社ですとか個人商店のほうに、例えば、女性が結婚されて子供を持った時に会社を退職したり、休むという時に、一度会社を辞めてしまうと違う職場を選ばなくてはならなくなるということなどをどのように考えているかという部分もあれば良いのではないかと。
- 高橋秀憲会長 双方の意見を聞いてみるのも必要ではないかというご意見でしたけれど。
- このアンケートの部分だけでなくともよろしいので、ご意見をいただきたいと思っておりますので、順番にご意見を伺いたいと思っております。
- 豊岡茂委員 先ほどからDVの関係のお話が出てきておりますが、警察としても一番身近な問題で、生活安全課長をしておりますので、直接DVに携わっているところです。
- アンケートで警察に相談に来たかという所で、なかなか警察に相談に来づらいという先ほどのお話がありますとおりですが、その中でも家族、友人、知人を除けば、ある程度相談がある。ただ、警察には最後の最後に来ているのだらうと。それこそ犯罪につながり兼ねない最後の手段のところとして相談に来ているのだらうと思っております。確かに実際に人身安全問題として警察に保護を求められれば迅速に対応いたしますし、そのほかに市の相談員やそのほかの機関の相談員から情報があれば迅速に対応させていただきます。事例としては、市の相談員の方から相談を受けていたケースで、情報があつたので、現行犯逮捕に至ったものの中にはありますので、住民に身近なところに相談する場所があるのは良いことだと思います。
- 高橋秀憲会長 ありがとうございます。
- 高橋正行委員 アンケート結果を見させていただき、男女共同参画の問題点があるのだということ改めて解ったところで、今後新しい計画策定の中にも表れてくるのだらうと思っております。男女共同参画の良い点、悪い点を総括的に判断しながらいくこととなると思っておりますので、アンケート等からももう少し詳細な現状分析があつたらよか

ったと思います。これからもっと検討を重ねていければと思います。

高橋秀憲会長

ありがとうございます。

今のご意見もこれから勘案されてくると思います。

伊藤達也委員

アンケートを見ながらいろいろなことを考えさせられまして、DVという言葉や意味は解っていましたが、どのようなものがDVで、どこからがDVなのかが解らない。男女共同参画を学ぶ場があまりないのではないかと、男性と女性の意識の違いで、なぜか男は外に出るもので、社会に出ていろいろなことを学ぶということの意識を持っている。PTA活動をしているが、役員17人中で男15名、女2名で、公募をかけてもどなたも出てこない、市でも県でも同じように男性の場である。会議の時間の設定を考えなければならぬのかということも解りましたし、さまざまアプローチの方法を考えなければならぬと思いました。アンケートの中に、あなたは男女共同参画を学んでいますかという項目があっても良かったのではないかと、どこで知識を学びますかという問いがあっても良かったのではないかと感じましたし、新たに自分も取り組んでいかなければと思いました。

高橋秀憲会長

ありがとうございます。

意識的な問題であるということでした。

市の事業を見ても啓発活動としてたくさんやられているようですが、問題は、参加数であったりと、考えるところが残っていると思います。

平賀貞子委員

アンケートの結果11ページで、幼稚園・保育園に預ける若いお母さんが増えてきているが、結婚して子供ができるまでは働いていて、子供ができると働きたくないというお母さんもおられる。また、旦那さんになられる方の収入が少ないと結婚を躊躇して婚期が遅くなる女性もいるように思われる。あるいは、結婚して子供を持ったお母さんが2・3時間のパートでも働こうとすると、家族の助けが必要になってくるが、お姑さんや自分の母親・父親に頼むのも気が引けてしまうというお母さんも少なくないようです。今、母親としてどのように子育てをしなくてはならないのかという意識、立場が分かっていない方が多い、それを教育して分からせてくれる場所や相談する場も少ないように感じているので、自分がどのように関わっていけば良いのか考えていきたいと思っています。

高橋秀憲会長

ありがとうございます。

若いお母さんのサポートも大切であるというお話でした。

佐々木美香委員

DVを受けたことや見たことがある方で相談しなかったというアンケート結果が思っていた以上にあることに驚いています。

病院にもDVを受けておられるような方が来られた場合は、そのまま帰すわけにもいきませんから、少しお手伝いができればと考えさせられました。事を大きくしたくない、誰にも知られたくないという方もおられることから、いつでも相

談にのれるような体制を整え、いろいろな相談室とも情報共有・提供を行い、取り組んでいかなければならないと感じました。

高橋秀憲会長 ありがとうございました。

藤戸妙子委員 アンケート結果の学校での男女平等の数値と職場での男女平等の数値では、学校での数値がかなり多いので、資料2の19ページ「花巻市総合計画基本計画」掲げる施策の成果指標と実績値の「2職場・学校における男女の平等が図られていると考える市民の割合」目標値が50%となっているが、学校と職場の数値を一緒にして男女の平等の数値とするのはどうかと感じた。

高橋秀憲会長 ありがとうございます。

角屋雄一委員 アンケート調査で「2.男女共同参画社会について」のところで、男女共同と思わないと回答した人たちにどのようなところが、男女共同ではないのかという追跡調査なりを行い、今後のどのように取り組みをして検討するかが重要なことだと考える。

もう一点、アンケートで答えた方の家族構成によっても男女共同の感じ方が違うので、その所が具体的な数字になって見えていないのが今後の課題であると思う。

高橋秀憲会長 ありがとうございます。

皆様から一通りご意見等をいただきました。今回は第1回目ということで、今行っている取り組みをご報告いただきましたが、今後は、アンケートデータ等を検証してさらに詳しいデータが出てくると思われます。他にご意見ご提言がございましたらお願いします。

穂高マツヨ委員 学ぶ場がなかったというご意見があったかと思うのですが、男女共同参画意識を根っこから育ませることが一番重要なんだろうと思いますが、それを行うのが、学校や家庭であって、学校の教師や家庭の保護者の皆様の意識が変わらないと子供たちに育たないと感じます。確かに学ぶ場ということが大切であります。例えば企業の研修などに花巻市男女共同参画推進員という方々の出前講座を利用していただきたいと思っております。推進員の方々も日々出前講座の内容を考え活動を行っておられるようですので、きっかけとして、花巻市の男女共同参画の一助になればよいと思います。

高橋秀憲会長 ありがとうございます。

豊岡茂委員 せっぱ詰まって、警察に相談に来る方もおりますので、その前に危険から離すことが大切なので、県とか市がもう少し相談を充実していただければと思います。一時的に避難できる場所への資金援助等をやっていただければ助かります。

高橋秀憲会長

ありがとうございます。

第1回目の審議は、これで終わりとしたと思います。

これから、計画策定の検討に入られると思われまので、次回以降も忌憚のないご意見をいただければと思います。

それでは、事務局お願いいたします。

5 その他

佐藤地域づくり
課長補佐

長い間、ご審議ありがとうございました。

それでは、その他に入らせていただきます。

久保田地域づくり
課長

次回以降のスケジュールもご説明させていただきましたが、アンケートの課題抽出をしなければ次の計画策定に進むことができないので、クロス集計、DVについては現在記述がほとんどないので必要です。それから、介護、保育についても制度の充実を求められてきていることが、10年前と大きく変わってきているところです。先に策定した子ども子育て支援計画等とリンクをしまして、計画を策定してまいります。また、過日、花巻市男女共同参画基本計画策定検討委員会いわゆる実質的に計画を策定に着手していただく委員会を立ち上げました。市からの提案を行い計画を策定していく中で、今後審議会の皆様には、中間での審議をいただくため、スケジュールでは、8月下旬となっておりますが、中間でまずはご意見をいただいて、計画策定を進めてまいりたいと考えておりますので今後ご多忙中とは思いますが、ご出席のほどお願いいたします。

それから、穂高委員から出ました推進員の出前講座はいくらでも伺いますので、市に連絡いただければ、対応できますので、今後もそのようなご要望等ありましたら、ご連絡をお待ちしております。

6 閉会

佐藤地域づくり
課長補佐

閉会を宣言